

手話で広がるコミュニケーションの輪 やさしい手話教室修了式

平成30年度やさしい手話教室が全日程を終え、10月23日に修了式が行われました。今回は6名の受講生が4ヶ月余り全18回の講座で、手話の基礎から簡単な日常会話に加え、聴覚障害についての知識や、障害を持っている方々の生活や文化を学びました。修了式では手話サークルとの交流会も行われ、楽しい雰囲気の中で教室を終了することができました。今後は手話検定試験に向けて学習し、手話習得を目指します。



ゲームや余興で楽しく交流 うまんちゅ交流会

11月13日、旧久米島中学校体育館で、うまんちゅ交流会（主催：久米島町障がい者家族会）が開催されました。今年度は、大平特別支援学校久米島高等学校分校の生徒を含めた、当事者・家族・ボランティアを含め総勢92名の参加者が集いました。交流会では、玉入れやベタンクなどのゲームのほか、当事者による余興などが行われ、参加者らは家族で楽しめる交流会を満喫した様子でした。



わたしから始める世界が変わる 世界食料デー「ハンガーゼロ」

第17回世界食料デー久米島大会が10月26日、具志川改善センターで行われました。大会では日本国際飢餓対策機構の小西氏による現地報告や、田村氏による講演が行われ、1分間に17人が飢餓で亡くなっている現実などについて話しました。また、ゲストのManamiさん（ハンガーゼロ親善大使）はライブのほか、現地で目にした様子を語りました。世界では子どもから大人まで、多くの人々が飢餓で苦しんでいる現実を知っておくべきかもしれません。



子どもたちが描く「大好きな島」 あおぞら図画コンクール

11月16日、町役場仲里庁舎においてJTAあおぞら図画コンクールの表彰式が行われました。「わたしの大好きな島」をテーマに県内の離島および与論島、奄美市などから計270点が応募。久米島から35点を出品し、赤嶺永瞬さん（仲里小1年）の最優秀賞をはじめ11人が入賞しました。作品は機内で紹介されるほか12月28日～1月8日の間、久米島空港で移動展示が行われます。地域の子どもの作品をぜひご覧ください。



伊万里市とインターネットで結び交流 小学生交流授業

11月1日、久米島町と伊万里市をインターネットで結び、久米島小学校4～6年生31人と伊万里市立東山代小学校5年生62人による交流授業が行われました。これは、久米島町、伊万里市、佐賀大学の3者が締結した連携協定に基づき、交流活動を推進する事業として行いました。佐賀大学の池上教授による海洋温度差発電の講義の後、児童らはテレビ会議を通して、自分の学校や地域について紹介し、お互いに質問するなど、活発な授業となりました。



海洋深層水利用学会賞を受賞 株式会社ポイントピュール

第22回海洋深層水利用学会が10月18日に韓国で行われました。学会では海洋深層水利用学会賞の表彰があり、株式会社ポイントピュール（代表取締役：大道敦）が受賞しました。同社は、海洋深層水をベースにした機能性化粧品の開発と普及に著しく貢献されたことが評価されました。海洋深層水利用学会は1997年に海洋深層水利用研究会として設立し、海洋深層水の利活用に関する産官学の関係者が情報交換を行っています。



中学校にプールの建設を！ 第1回子ども議会

11月6日久米島町で初となる子ども議会が行われました。西中学校と球美中学校3年生から選抜された14人が子ども議員となり、日ごろから感じていることや、こんな町にしてほしいといった意見や提案などを議案として提出しました。質問する姿は、とても緊張している様子があったものの、しっかりと自身の意見を述べました。教育長は「身近な暮らしに目を向け、より良い教育、住みよい暮らしになるような質問内容で素晴らしかった」と感想を述べました。



心揺さぶる歌声が響く #Kumejamin'一夜限り。秋の音の贈り物

前川真悟（かりゆし58）さんのライブが11月10日イーブ情報プラザで行われました。主催したのはチーム#kumejamin'（久米島を音楽で盛り上げようと、若者たちが昨年立ち上げた）。今年は1週間余りでチケットが完売するほどの人気を見せました。イベントでは、島内のアーティストらが歌やダンス、民謡などを披露。前川さんはサポートギターのスナフキンジョーさんと、かりゆし58の「アンマー」をはじめ約10曲を披露。約200名の来場者らは、この音の贈り物に酔いしれました。